

項目	説明	
試料・情報の	研究課題名	子宮頸癌全骨盤照射における炭素線治療と X 線治療の線量パラメーターの比較検討
利用目的 及び	研究対象者	子宮頸癌と診断された患者さんのうち、2020 年 8 月から 2025 年 5 月の間に神奈川県立がんセンター重粒子線治療を受けられた方
利用方法	研究目的	子宮頸がんに対する放射線治療では、通常 X 線が使われますが、最近では重粒子線（炭素線）治療も保険適用となり注目されています。本研究では、骨盤全体を照射する際に、X 線と炭素線でどの程度正常な臓器への影響が異なるかを比べ、炭素線治療の優れた特性を明らかにすることを目指します。
	研究方法	当院で子宮頸癌に対して重粒子線治療を行った患者さんの CT 画像を用いて X 線治療と炭素線治療の全骨盤照射プランを作成し、線量パラメーター（腫瘍への線量分布や正常臓器への線量）を比較・解析する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 7 月 1 0 日 ~ 西 暦 2 0 2 7 年 0 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[×] 総長が研究実施を許可した日 [] 西 暦 年 月 日 頃（研究の進捗によって前後いたします）
	利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[] 試料: [] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____) [×] 情報: [☑] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[] 年齢、[] 生年月日、[] 性別、[] 既往歴、[] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[] 臨床検査値、[] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[] 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、[×] その他(具体的に記載: <u>治療計画 CT</u>)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター 研究責任者 放射線治療科 高下啓明 共同研究機関および責任者 なし その他の機関 なし	
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター放射線治療科 高下啓明 0455202222（代） 利用停止のお申し出は 2025 年 11 月 15 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	